

H O O K E E D R U G S

ウールで
楽しむ
フックド・
ラグ

齊藤 謠子



斉藤謡子

[さいとう・ようこ]

NHK文化センターやヴォーグ学園などで講師を務めるかたわら、雑誌、テレビなどで幅広く活躍している。アースカラーを中心とした独自の色合いにファンが多い。千葉県市川市にある「キルトパーティ」（スクール兼ショップ）のオーナーでもある。NHK文化センター講師、日本ヴォーグ学園講師、朝日カルチャーセンター講師、ニードルワーク日本展会員。著書は『斉藤謡子のバッグも学べるパッチワーク教室』（文化出版局）、『1パッチ、2パッチ、3パッチのパッチワークキルト』（日本ヴォーグ社）、『アメリカンパッチワーク』（NHK出版）など多数ある。

●キルトパーティ

〒272-0034 千葉県市川市市川

1-23-2 アクティブ市川2F

TEL 047-324-3277

FAX 047-325-2788

この本でご紹介した布地や用具は、店で売っているだけでなく通信販売もしていますので、直接上記に連絡してください。

<http://www.rakuten.co.jp/quilt/>

装丁、レイアウト 若山嘉代子 + 平方いづみ L'ESPACE

撮影 渡辺淑克

イラスト、トレース 小池百合穂

製作スタッフ 才賀宣子 佐藤和子 米山洋美 船本里美 松元和子



2000年12月10日 第1刷発行

著者 斉藤謡子

発行者 大沼 淳

発行所 文化出版局

〒151-8524 東京都渋谷区代々木3-22-1

TEL03-3299-2487(編集) 03-3299-2542(営業)

印刷所 株式会社文化カラー印刷

製本所 株式会社明泉堂

© YOKO SAITO 2000 PRINTED IN JAPAN

万一乱丁落丁がありましたらお取り替えいたします。

お近くに書店がない場合、読者専用注文センターへ ☎0120-463-464

ホームページ <http://books.bunka.ac.jp/>

本書の全部または一部を無断で複写(コピー)することは、著作権法上での例外を除き、禁じられています。本書からの複写を希望される場合は、日本複写権センター(TEL03-3401-2382)にご連絡ください。

ウールで楽しむ

HOOKED RUGS

フックド・ラグ

斉藤 謠子

YOKO SAITO



文化出版局

C O N T

フックド・ラグってなんでしょう？ 4

Tapestry	ミトンのタペストリー 8 ⁵⁰
Mini-mat	りんごのミニマット 10 ⁵²
Coaster	コースター 11 ⁵³
Mini-mat	はちのミニマット 12 ⁵⁴
Pouch	オークリーフのポーチ 13 ⁵⁶
Basket	花のバスケット 14 ⁵⁸
Bag	ふくろうのバッグ 15 ⁶⁰
Floor mat	木の実のフロアマット 16 ⁶²
Cushion	ねこのクッション 17 ⁶⁴
Doorstopper	ドアストッパー 18 ⁶⁶

E N T S

- Floor mat オクタゴンのフロアマット 20⁵⁵
Pouch スtringのポーチ 22⁶⁸
Accessory case ハウスの小物入れ 23⁶⁹
Mini-bag ミニバッグ 24⁷⁰
Country dolls カントリードール 26⁷²
Wallet かぼちゃの財布 28⁷⁶
Pouch すいかのポーチ 29⁷⁷
Mini-tapestry ミニタペストリー 30⁷⁸
Box 台形のボックス 31⁷⁹
Floor mat ハウスのフロアマット 32⁸²
Chair mat チェアマット 34^{81,84}

さあ、作ってみましょう！ 36

フックド・ラグって

HOOKED RUGS

なんでしょう





フックド・ラグという言葉はあまりなじみがないと思いますが、これはアメリカの開拓時代からキルトと同じように作られていた古い手芸で、ニューイングランドで生まれ、1840年ごろから人気が出はじめました。

布がふんだんになかった時代は、木綿の余り布はパッチワークキルトに、ウールはフックド・ラグとして生まれ変わったのです。

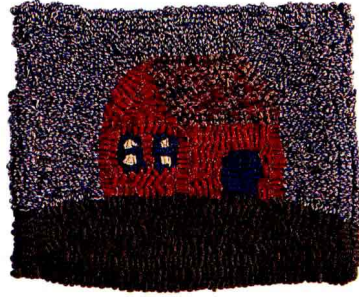
このように貧しい時代の必要から生まれた実に機能的なもので、少ない用具と材料で、誰にでも簡単に作ることができる素晴らしい手芸です。

移民たちが、穀物袋を土台布にして、いらなくなったウールやウールの余り布を



細くテープ状に切り、かぎ針で引っかけてすくい上げてループ状にし、それで土台布を埋めて敷物を作ったのです。テープの太さも3mm、5mm、7mm、1cmといろいろな太さがありますが、細い幅のものは密に埋めていくので繊細な絵柄が出来上がります。反対に1cm幅などの太いものはざっくりとして素朴でカントリーな味わいが出て、私はこちらのほうが好みます。

出来上がったものはウールで作っているため、どっしりとした重みと厚みがあり、それはドアマットなどにしてすき間風を防ぐのに役立てたり、カーペットにして部屋を美しく飾ったのです。



左の人形はニューヨークのフォークアートミュージアムで買ったもの。
上下の小さなラグは、ヒューストンの
キルトフェスティバルで素朴さが気に入って買い求めたもの。



模様は人々の暮らしぶりを描いたものや、家、かわいがっているペットなどの動物、風景、花、またパッチワークのパターンを使ったものなど、実にさまざまなものがあります。

既製の図案を使って作ってもいいのですが、フックド・ラグは自由に自分の好きな図案をかいて埋めていくのも楽しいものです。フッキングの仕方も初めは上手にできなくても気にすることはありません。埋め方がきれいでもなくても、それがまた素朴でカントリーないい味わいになりますから、楽な気持ちで作ってみましょう。

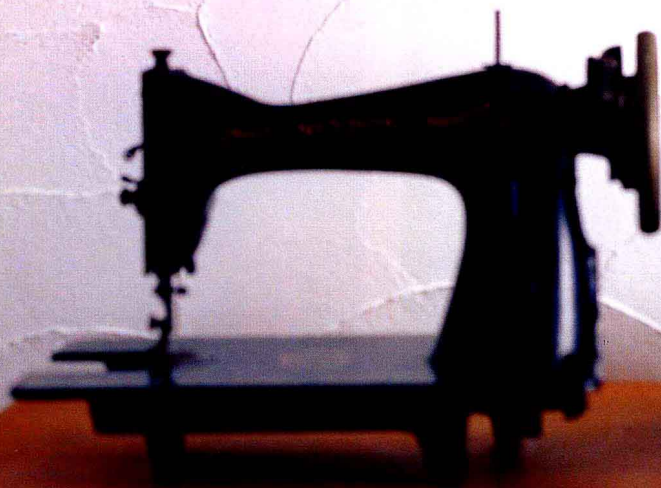
齊藤謠子





Tapestry _ page 50

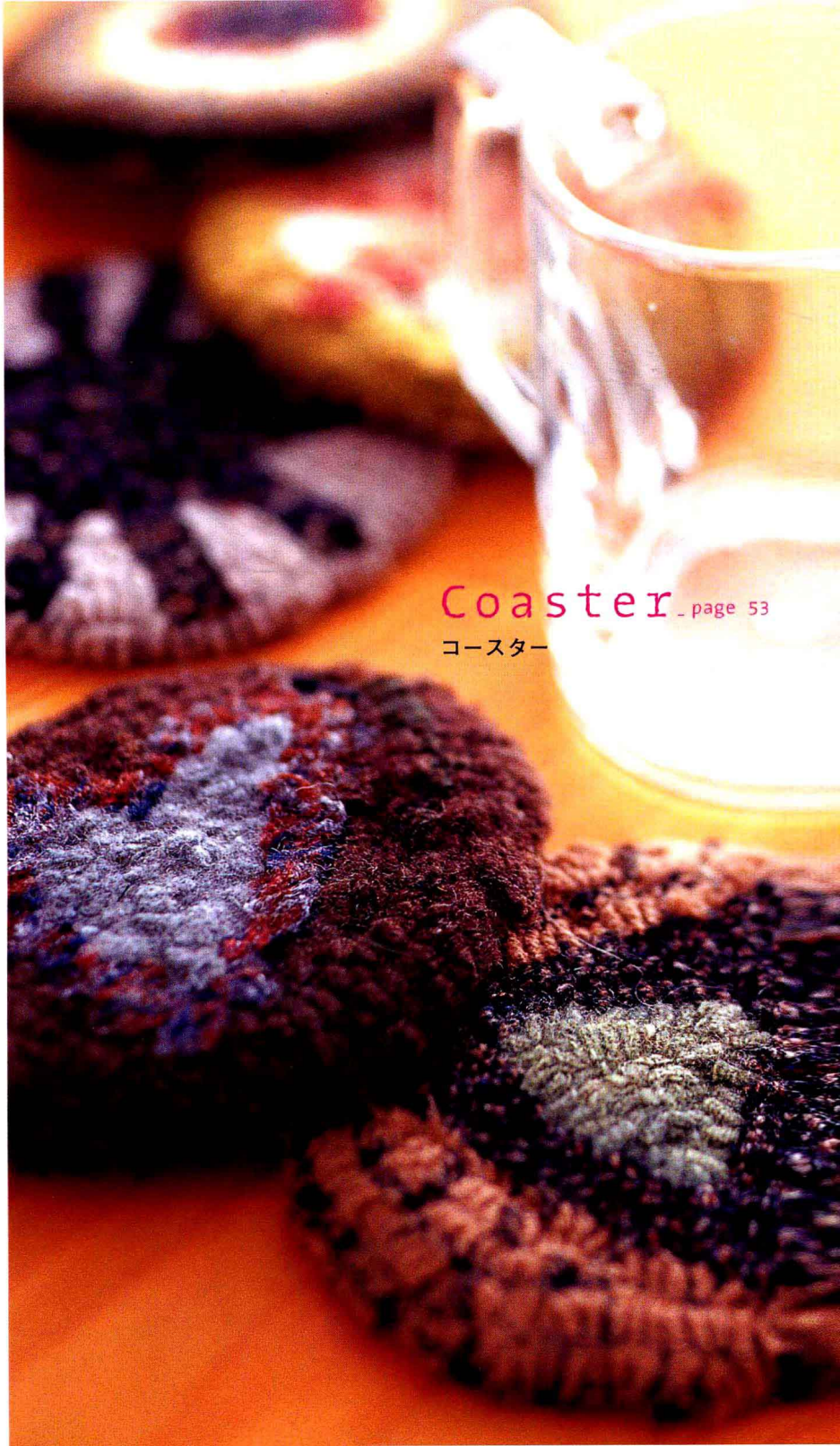
ミトンのタペストリー



Mini-mat .page 52

りんごのミニマット





Coaster _ page 53

コースター



Mini-mat - page 54

はちのミニマット





Pouch _ page 56

オークリーフのポーチ





Basket page 58

花のバスケット



Bag page 60
ふくろうのバッグ

